



- ホーム ▶
- 活動情報一覧 ▶
- 年間行事予定 ▶
- 組織紹介 ▶
- 土木って何? ▶
- 土木遺産 ▶
- 北海道選奨土木遺産カード ▶
- 土木学会北海道支部賞 ▶
- 学生会員のページ ▶
- 土木学会入会のご案内 ▶
- 出版物のご案内 ▶
- ACCESS ▶
- リンク集 ▶

公益社団法人 土木学会北海道支部 認定

選奨土木遺産



TOP 年表で探す 一覧で探す 認定のプロセス クレジット

All **B** 橋梁 **D** ダム **H** 港湾 **Rd** 道路 **Rv** 河川 **Rw** 鉄道 **P** 発電 **W** 水道 **O** その他

※上記アイコンをクリックすることで、該当する土木遺産の一覧を参照いただけます。

平成27年度認定

▶ 茨戸川の岡崎式単床ブロック護岸

石狩市 竣工年:1917(大正6年)

茨戸川の岡崎式単床ブロック護岸は「岡崎文吉が考案・敷設し、その技術は北海道開発に貢献し、さらには海外にも継承され、国内に普及している連節護岸の礎となる施設」であります。



Rv 河川

▶ 旧函館本線神居古潭トンネル群

旭川市 竣工年:1897(明治30年)、1928(昭和3年)

旧函館本線神居古潭トンネル群は「北海道官設鉄道として建設され、わが国有数の膨張性岩盤地帯に挑み、逐次路線改良を重ねながら道内幹線鉄道輸送を支えた施設群」であります。



Rw 鉄道

平成26年度認定

▶ 新釧路川

釧路市、釧路郡釧路町 竣工年:1921(大正10年)に着手、着工以来10年を経て、1931(昭和6年)に完成

新釧路川は「釧路市に甚大な被害を与えた1920(大正9)年洪水を契機に開削され、洪水対策に加え釧路港への土砂流入を防ぎ、地域の発展を支えた施設」であります。



Rv 河川

▶ 松前港 福山波止場

松前郡松前町 竣工年:1875(明治8年)竣工、1889(明治22年)に小破修理、1892(明治25年)から3力年の補修工事

松前港福山波止場は「松前城石垣の再利用材と北海道で最も初期の練積みコンクリートで築造された堤体を有し、近代土木技術への過渡期を物語る遺構」であります。



H 港湾

土木ボランティア
寄付募集中



災害速報



平成25年度認定

▶ [覆蓋付緩速ろ過池\(春光台配水場\)](#)

旭川市 竣工年:1913(大正2)年(1968(昭和43)年配水池へ改修)

覆蓋付緩速ろ過池(春光台配水場)は、建設当時は日本最北の浄水施設であり、美しい煉瓦積アーチの覆蓋を設けたろ過池は、極寒地の水道施設の礎となった貴重な土木遺産であります。



W 水道

▶ [旧北炭幾春別炭鉱・錦坑の炭鉱施設群](#)

三笠市 竣工年:1920(大正9)年

旧北炭幾春別炭鉱・錦坑の炭鉱施設群は、北海道内現存最古の立坑櫓を含む立坑や坑口等、北海道開拓の原点である石炭産業を土木技術が支えたことを示す貴重な遺構群であります。



O その他

平成24年度認定

▶ [岡山橋](#)

岩見沢市東町 竣工年:1936(昭和11)年

道内に現存する数少ない戦前の鋼道路橋(4橋)の1つであり、北海道で最初に架設されたソリッドリブ・タイドアーチ橋である。



B 橋梁

平成23年度認定

▶ [道庁正門前木塊舗装・銀杏並木](#)

札幌市 竣工年:1924(大正13)年・1925(大正14)年

札幌で最初に整備された近代街路で当時の道路設計を今に伝える現存最古の木塊舗装と並木であり札幌を代表する道路景観です。



Rd 道路

▶ [虻田発電所](#)

虻田郡洞爺湖町 竣工年:1939(昭和14)年

洞爺湖と噴火湾の落差を利用した巧みな発電計画により、戦中から戦後にかけて、北海道の産業発展に貢献した現役利用の発電所です。



P 発電

▶ [夕張川新水路](#)

夕張郡長沼町、空知郡南幌町、江別市 竣工年:1936(昭和11)年

石狩低平湿地を蛇行していた夕張川を直接石狩川へ合流させ、水害常襲地帯を穀倉地帯へ変貌させる礎となったショートカットです。



Rv 河川

平成22年度認定

▶ 創成橋

札幌市中央区 竣工年:1910(明治43)年(2010(平成22)年復元改修)

札幌のまちづくりの礎となった市内最古の石造橋。その歴史と技術を後世に継承すべく、往時の姿で復元した貴重な土木遺産である。



B 橋梁

▶ 舞鶴橋

夕張郡長沼町 竣工年:1936(昭和11)年(1995(平成7)年現位置移設)

千歳川流域の治水と開発を象徴し田園風景に映える円形アーチが地元で愛され移設保存となった戦前の希少なランガーガード一橋である。



B 橋梁

▶ 留萌港南防波堤

留萌市大町 竣工年:1929(昭和4)年

激浪による稀有の難工事と堤体の移動や改修の歴史を示しながら、港湾と都市を守り続ける初期の重力式ケーソン構造の外洋防波堤である。



H 港湾

平成21年度認定

▶ 第三雨龍川橋梁

雨竜郡幌加内町 竣工年:1931(昭和6)年

道内初の吊足場式架設工法の採用と輸入鋼材鋸桁の転用など、経済性と工期短縮を考慮した昭和初期の地方鉄道線建設を伝える橋梁。



B 橋梁

▶ 狩勝信号場跡

上川郡新得町・空知郡南富良野町 竣工年:1907(明治40)年

北海道東西連絡の要衝狩勝峠に設置された、スイッチバック方式の信号場跡。築堤、レンガ・石造アーチ橋などが残り往時を語る。



Rw 鉄道

▶ 小樽港斜路式ケーソン製作ヤード

小樽市 竣工年:1912(明治45)年

滑り台方式でケーソンを進水させた世界初の施設であり、ケーソン技術の適応範囲を広げ、わが国近代港湾の発展に貢献した



H 港湾

平成20年度認定

▶ 奥沢水源地水道施設

小樽市 竣工年:1914(大正3)年

北海道開発を支えた港湾都市小樽で建設後90年を越える現役の

水源。寒冷地での工事技術、階段状溢流路の水流が高く評価される



W 水道

▶ [定山溪発電所施設](#)

札幌市 竣工年:1909(明治42)年

北海道における現役最古の水力発電所施設。運用開始以降、地域産業の発展に貢献した歴史的構造物。



P 発電

▶ [聖台ダム](#)

上川郡美瑛町 竣工年:1937(昭和12)年

建設時国内で最大規模の水田灌漑貯水池。各種の試験や十分なグラウトを施すことで困難な工事を完成させ、修景にも配慮された施設



D ダム

平成19年度認定

▶ [千歳川の王子製紙水力発電施設群](#)

千歳市 竣工年:1910(明治43)～1941(昭和16)年

北海道における水力電力開発黎明期を代表する現役稼働の水力発電施設群。新聞用紙等の国産供給力の質と量の飛躍的向上を支えた。



P 発電 D ダム

▶ [札幌市水道記念館\(旧藻岩浄水場\)](#)

札幌市 竣工年:1937(昭和12)年

急速濾過、薬品沈殿、機械式調節等の近代設備を導入し、札幌の生活を支えた施設。現在は供用当時の様子を保存し、直接見学できる。



W 水道

▶ [藻岩発電所・取水堰](#)

札幌市 竣工年:1936(昭和11)年

1936(昭和11)年から70年間にわたり、札幌市へ電力と水道原水の供給を行ない、札幌市民の生活を支えてきている重要な施設。



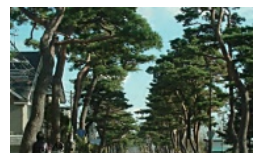
P 発電

平成18年度認定

▶ [札幌本道赤松並木](#)

亀田郡七飯町、函館市 竣工年:1874(明治7)年～1877(明治10)年

わが国最初の本格的な西洋式馬車道「札幌本道」完成の際に移植された赤松の並木道。日本近代道路史と北海道農業開拓史における歴史遺産。



Rd 道路

▶ 張碓橋

小樽市 竣工年:1933(昭和8)年

昭和初期の札幌国道開削の歴史を伝える唯一の土木遺産。北海道最初の鋼製プラット型バランスドアーチ橋。



B 橋梁

▶ 網走港帽子岩ケーソンドック

網走市 竣工年:1930(昭和5)年

天然の岩盤を掘削したケーソン製作専用のドライドック。寒冷地海洋環境下のコンクリートケーソンによる築港技術を確立した。



H 港湾

平成17年度認定

▶ 雨竜発電所

上川郡風連町、雨竜郡幌加内町 完成年:1943(昭和18)年

我国初の地下式発電所で、その巧みな発電計画により北海道の電力供給の中核を担っている昭和初期を代表する電力土木構造物。



P 発電 D ダム

▶ 宗谷線剣淵・土別間鉄道防雪林(深川林地)

上川郡剣淵町 完成年:1942(昭和17)年

過湿泥炭地に土壌改良法を取り入れた鉄道防雪林植栽技術を確立し、宗谷線のみならずその後の道内各路線の安定輸送に寄与した。



Rw 鉄道

▶ チキウ岬灯台

室蘭市 完成年:1920(大正9)年

設置以来大きな改築なく現在まで供用されており、沿岸航行の安全に寄与してきた、地域的愛着の高い灯台。



O その他

平成16年度認定

▶ 函館港改良施設群 船入瀬防波堤、第1号乾ドック

函館市 竣工年:(船入瀬防波堤)1899(明治32)年、(第1号乾ドック)1903(明治36)年

北海道港湾修築の嚆矢的構造物群で最初期の港湾コンクリート。廣井勇設計のコンクリートブロック基礎の船入瀬防波堤やコンクリートブロック造乾ドック



H 港湾

▶ [十勝川千代田堰堤](#)

中川郡池田町 竣工年:1935(昭和10)年

国内有数の農業王国十勝の礎となり、十勝川治水開闢期の歴史を伝える大規模固定堰



Rv 河川

平成15年度認定

▶ [稚内港北防波堤ドーム](#)

稚内市 竣工年:1936(昭和11)年/1980(昭和55)年復元

海陸の連絡を波飛沫から防護する類例のない設計であり、原型保存に徹した復元と補修で次代へと受け継がれるドーム型有覆防波堤。



H 港湾

▶ [狩勝峠鉄道施設群](#)

[大築堤、新内隧道、小笹川橋梁](#)

上川郡新得町 竣工年:1907(明治40)年/1966(昭和41)年廃止

根室本線の開通時に建造された鉄道施設遺構群。山裾に沿ったS字曲線の大型築堤、隧道、橋梁からなり、北海道の東西連絡と拓殖に寄与した。



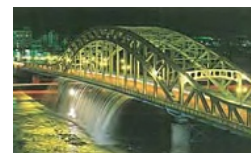
Rw 鉄道

平成14年度認定

▶ [旭橋](#)

旭川市 竣工年:1932(昭和7)年

日本を代表する大型のバランスト型のタイドアーチ橋



B 橋梁

▶ [生振捷水路](#)

石狩市 竣工年:1931(昭和6)年

わが国を代表する捷水路事業によって生み出された親水空間



Rv 河川

平成13年度認定

▶ [函館市の水道施設群](#)

[笹流ダム・元町配水場、管理事務所](#)

函館市 竣工年:(元町配水場)1889(明治22)年、(笹流ダム)1924(大正13)年

近代水道として横浜に次いで古い配水池と、日本初のバットレスダムを有する水道施設



W 水道 D ダム

平成12年度認定

[小樽港北防波堤](#)

小樽市 竣工年:1908(明治41)年

廣井勇の小樽築港の枢要で、日本初の本格的コンクリート防波堤



 港湾

 **Back**
前のページに戻る

 **To Top**
ページの先頭へ

支部事務局:〒060-0061 札幌市中央区南1条西2丁目 南1条Kビル8F TEL 011-261-7742・011-251-7038 / FAX 011-251-7038

© Japan Society of Civil Engineers - Hokkaido. All rights reserved.